

高温に伴う水稲及び麦の管理対策

令和7年5月8日
新発田農業普及指導センター

新潟地方気象台が5月5日に発表した天気予報では、5月13日頃からかなりの高温が予想されています。

農作物の管理や熱中症などの健康管理に注意願います。

【気象庁 早期天候情報】

高温に関する早期天候情報（北陸地方）

令和7年5月5日14時30分

新潟地方気象台 発表

北陸地方 5月13日頃から かなりの高温

かなりの高温の基準：5日間平均気温平年差 +2.1℃以上

北陸地方の気温は、向こう4日間程度は平年並か低いでしょう。その後は暖かい空気に覆われやすいため高く、13日頃からはかなり高くなる可能性があります。

農作物や家畜の管理等に注意してください。また、熱中症など健康管理に注意してください。

なお、1週間以内に高温が予測される場合には高温に関する気象情報を、翌日または当日に熱中症の危険性が極めて高い状態になることが予測される場合には熱中症警戒アラートを発表しますので、こちらにも留意してください。

https://www.data.jma.go.jp/cpd/souten/?reg_no=21

1 水稲

- (1) ハウス育苗では、ハウス側面を十分開放してハウス内温度の上昇を防ぐとともに、育苗箱の水分に注意し、水分不足による葉の萎凋や過湿による苗の徒長を防ぐ。
- (2) 田植えに際しては、葉の萎凋が生じないように、ハウスからの苗搬出前や、水田への搬出後に必要に応じかん水する。
- (3) 雑草の発芽や生育が高温により早まるため、雑草の発生状況を観察し、除草剤の散布適期を逃さないように注意する。また、高温時に薬害が発生しやすい除草剤もあるため、ラベルの注意事項をよく確認する。

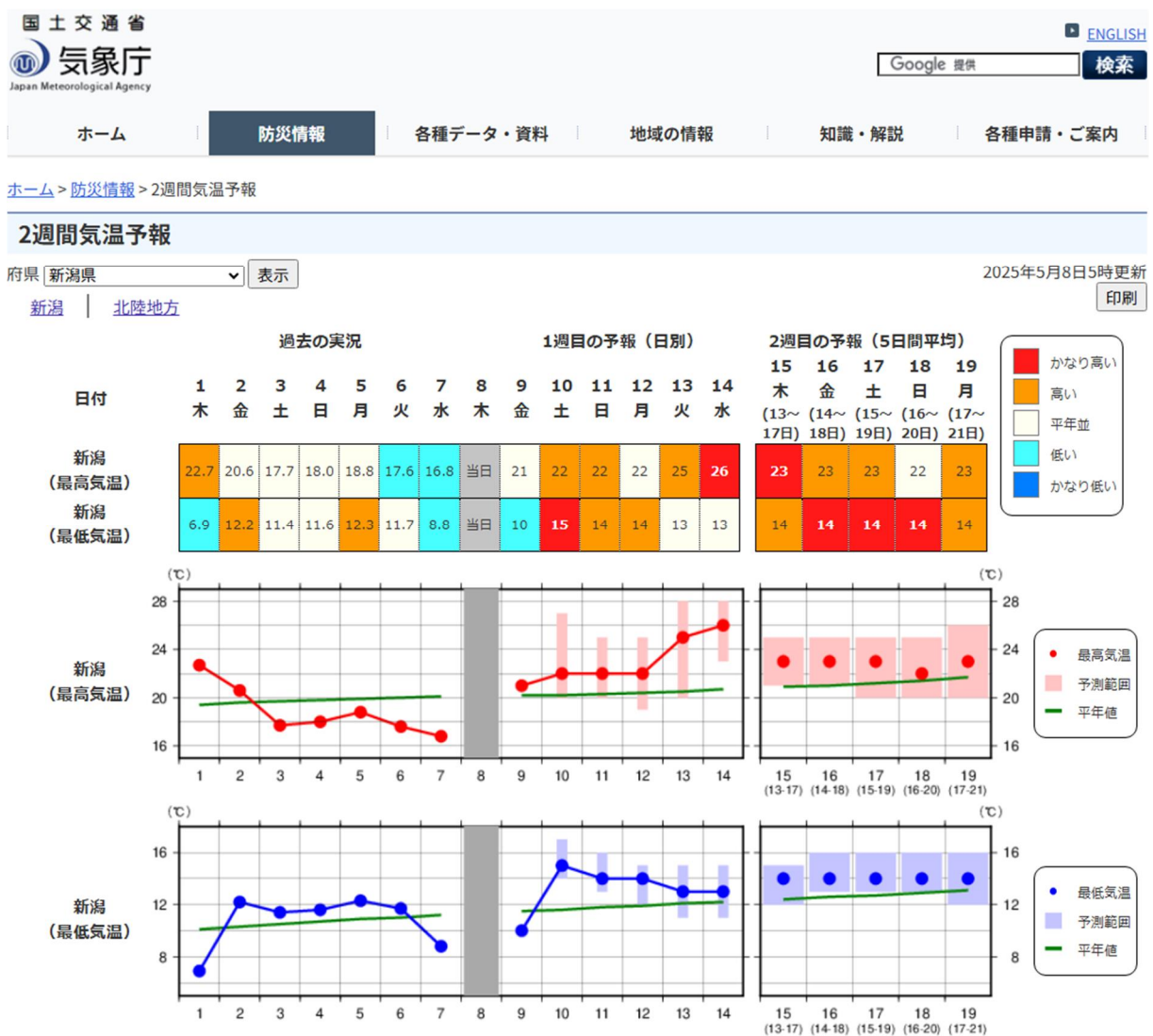
(4) ワキの発生による初期生育の停滞が見られた場合は、夜干し等で一時的に落水（ガス抜き）し、根腐れや生育停滞を防止する。

2 麦

(1) 高温や土壌の乾燥を受けた後に湿害を受けると成熟期に達する前に枯れる恐れがあるため、排水溝の再点検を行い、湿害を避ける。

(2) 小麦では高温により出穂期が早まるので、赤かび病防除や穂揃期追肥の適期を逃さないよう注意する。

【参考：気象庁 2週間気温予報】



<https://www.data.jma.go.jp/cpd/twoweek/?fuk=54>